

科目名 (科目番号)		基礎看護技術Ⅰ (人間関係とコミュニケーション) (時間割参照)	教員名	北島元治 宮下真理子 看護学科教員		学科等	看護	必修	履修年次	1
						曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
						授業形態	演習	オフィスアワー	水12時～13時A202	
授業概要		看護は人間に対する深い理解と科学的な思考、専門的な技術が一体となって看護活動を展開する。対象者との人間関係を構築し看護活動を展開するためには自己理解と他者理解の両者が不可欠となる。グループワークやロールプレイ、プロセスレコードを通して、自らのコミュニケーション傾向に気づき、看護援助における人間関係の特徴を理解し、対象者との関係を発展させるコミュニケーションについて学ぶ。								
目的・目標		目的:看護援助における人間関係の特徴を理解し、対象者との関係を発展させるコミュニケーション技術の基本を修得する。 目標:①看護におけるコミュニケーション技術の特徴について理解できる。②人間のコミュニケーションは相互作用であることを理解できる。③対象者との人間関係を発展させるためには、自己理解を深める必要があることを理解できる。④援助者としてのコミュニケーションにおける自己の課題を明らかに出来る。								
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。								
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容						
	1	人間関係とコミュニケーション（1）		到達目標:看護における人間関係について理解できる。 学習内容:人間関係構築のためのコミュニケーションの基本、コミュニケーションにおける自己理解について学習する。						
	2	人間関係とコミュニケーション（2）		到達目標:コミュニケーションの基礎概念について理解できる。 学習内容:コミュニケーションの構成要素と成立過程、コミュニケーションの類型、コミュニケーションに影響を及ぼす因子について学習する。						
	3	人間関係とコミュニケーション（3）		到達目標:コミュニケーション技術について理解できる。 学習内容:共感的理解、傾聴、質問（Open-ended questin,Closed question）、承認、提案の技術、医療チームのコミュニケーション、機器を用いたコミュニケーションについて学習する。						
	4	コミュニケーションの技術（1）		到達目標:コミュニケーションにおける自己理解の重要性について理解できる。 学習目標:グループコミュニケーションを通して、自己理解・他者理解について学習する。 ジョハリの窓の活用・プロセスレコードの活用を通してコミュニケーション能力の向上を図れることを学習する。						
	5	コミュニケーションの技術（2）								
	6	コミュニケーションの技術（3）		到達目標:自己のコミュニケーション傾向に気づき、コミュニケーション能力を高めることができる。 学習内容:学生間のロールプレイ体験と振り返りを通してコミュニケーションについて学習する。						
	7	コミュニケーションの技術（4）								
	8	まとめ		到達目標:援助者としての自己のコミュニケーション課題を明らかにできる。 学習内容:コミュニケーションについて振り返り、自己の課題及び知識の確認をする。						
成績評価の方法・基準		①課題（20%） ②筆記試験（80%）（筆記試験は60%以上の得点があること） 対面時:②が60%以上、オンライン時:②が60%以上に達していること。								
教科書		新体系 看護学全書基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ			深井喜代子編			メヂカルフレンド社		
参考図書		自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 第3版			長谷川雅美編			日総研		
教員からのメッセージ		コミュニケーションは人と人との信頼関係を構築し、看護を提供するために不可欠な技術です。自己のコミュニケーションを振り返り、自己理解に努めましょう。課題はコメントを付して返却します。臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員が担当します。								